

# アジア・アフリカ ラテンアメリカ

今月の読み物

- 2面 辺野古新基地建設ストップ 世界の労働者に報告
- 3面 大統領弾劾をめぐる対立
- 4、5面 韓国近現代史と日韓の平和友好を学ぶ
- 6面 「パレスチナ署名」運動と「国際署名」で団体を訪問
- 7、8面 列島 AALA

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

2016年5月1日 No.670

## 54年ぶりに文民政権が誕生

### ミャンマー

54年間、軍が実質支配してきたミャンマーで、昨年の総選挙で大勝した国民民主連盟（NLD）のティン・チョー新大統領が3月30日、首都ネピドーで就任し、4月1日新政権が始動しました。

国民的和解、国内平和、民主的連邦国家をめざす憲法の追求、国民の生活水準の向上、などが当面の政策となっています。少数民族との平和をめざすとくみ、独立以来の「非同盟・中立」を外交の基調としており、外交・経済関係でとる政策が注目されます。

写真は大統領就任晩餐会でアウン・サン・スー・チー氏（左）を迎えるティン・チョー大統領（右）。（ミャンマー政府・情報省のホームページより）



### ソウル大学・南基正副教授

### 「日韓歴史問題」で講演

### 日本 AALA 韓国ツアー



ソウル大学日本研究所・南基正副教授は、「日韓関係の国内政治と国際政治」と題して講演しました。第2次世界大戦後の東アジアの国際体制（休戦体制・戦場・基地）、韓国ナショナリズムと日韓関係について詳述しました。なお、講演記録はパンフレットとして発行します。ご期待ください。

九州地方の地震で犠牲になった方々に哀悼の意を表するとともに  
被災された方々にお見舞い申し上げます。

# 辺野古新基地建設ストップ 世界の労働者に報告



沖縄県統一連  
事務局長

瀬長 和男



日本 AALA 連帯委員会のみなさまの、長年にわたる沖縄のたたかひへのご支援に対し心より感謝申し上げます。

辺野古埋立て問題での代執行訴訟について国と沖縄県が和解し、新基地建設がストップした現状と、4月1日から3日までの日程で、アメリカシカゴで開催された米国民的労働組合の全国大会、レイバーノーツ大会に参加し、沖縄・辺野古のたたかひについて発言した事について報告します。

代執行訴訟では、国寄りの根本的和解案と県寄りの暫定的和解案が裁判所から示され、そのいずれも両者が合意する事はないと考えていました。そのため、3月4日、政府からの暫定的和解案受け入れのニュースに対し、懐疑的な受け止めをしていました。翌5日は土曜日で、いつもだと朝7時ごろには作業車両が基地内に入りますが、この日以降、車両の出入りが止まり、まれに重機などの基地外への搬出がある程度で、静かなゲート前になりました。

ボーリング調査が続いていた大浦湾では、海保が使用していた浮き桟橋が早々に片づけられ、掘削棒が刺さったままの状態です。フロートや汚濁防止膜も一部撤去され、作業は完全に止まりました。

和解合意で、3件の訴訟がすべて取り下げられ、埋立て承認が取消された状況に戻りました。あらゆる手段を使って工事を止めることを公言していた翁長知事や沖縄

県のとりのくみと、それを支持し、辺野古に結集し、一分一秒でも工事を遅らせようと座り込みに結集した沖縄県民、そして現地へ支援に訪れ、激励をつづけた全国の仲間の方々の連帯が生み出した画期的な勝利だと考えています。

しかし、ゲート前は和解合意前と同様に、殺人鉄板が敷かれ、バリケードでふさがれた工事用ゲート前を3台の機動隊車両が違法駐車を続け、3月末の警視庁機動隊の帰京後も100人以上の県警機動隊が連日基地内に待機しています。大浦湾でも作業台船が3隻停泊し、コンクリートブロックも積載されたまま、いつでも作業が再開できる状態で置かれています。海保は強引な排除行為をやめ、遠巻きに拡声器での声掛けを行っている状況で、大浦湾に居座りつづけています。

国は和解案に合意したのだから、承認取消して違法となった新基地建設のすべてを白紙に戻し、工事開始前の状態に戻すべきです。私たちは辺野古を完全な合意状態に戻すよう告発をつづけています。また、「辺野古が唯一の選択肢」とする安倍内閣の打倒をめざし、6月5日の県議選での勝利と参院選での伊波洋一さんの勝利のために奮闘する決意です。引きつづきご支援をお願いします。

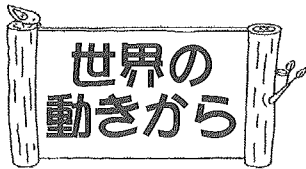
## アメリカで沖縄報告

沖縄のたたかひを報告するため参加したレイバーノーツ大会は、労働者の権利のために「たたかう」労組の組合員が全米各地から集ま

り、そしてアジアやヨーロッパからの参加者も含め2000人規模で開催されています。今回は、「米国の覇権主義とのたたかひ」というテーマの分科会で、沖縄の歴史、占領時代からつづく基地問題、そして新基地建設反対のたたかひについて報告してきました。残念ながら分科会参加者は多くはありませんでしたが、「沖縄のためになにができるか教えてほしい」「どうすれば沖縄について知ることができるか」などの声もあり、アメリカ市民に沖縄問題を知らせる努力をつづけることが大事だと認識できました。同じ分科会でコロンビアからの報告があり、アメリカ軍と自国の軍隊が、米国企業の利益のために市民の権利を侵害している実態が報告され、結局アメリカ軍は自国の利益のために世界中に展開していることがわかる内容で、かなり衝撃的でした。

アメリカでは最低賃金15ドルを求め、「fight for 15」を合言葉に運動を展開し、いくつかの州で実現しているそうです。企業への課税強化と市民サービスの充実を求め、労組と市民が連帯して運動を展開している点も興味深いものがありました。日本でも政府の分断政策を見抜き、国民が連帯してたたかうことが重要だと再認識できました。

基地でも原発でも TPP でも社会保障でも、あらゆる分野で国民要求を無視しつづける安倍政権打倒のため、野党共闘を全国に広げ、戦争法廃止の連合政府を実現していきましょう。



## ブラジル情勢

# 大統領弾劾をめぐる対立

ルセフ政権が議会による弾劾の動きで揺さぶられているブラジル。日本のマスコミは、経済不況と大規模な汚職の発覚で国民の不満と政権批判が高まった結果と報じているが、「弾劾は選挙による正当政府の大統領を排除するクーデター」「大統領とブラジルの民主主義を守れ」という世論と運動も高まってきた。中南米の革新の動きを報じるテレスルなどがその動向と主張を丹念に報じている。

ルセフ大統領弾劾の是非を審査する下院は4月17日、3分の2以上の多数で決めた。これに先立ってルセフ大統領は12日、大学関係者の集会で演説し、「裏切りとクーデターの企てによって民主主義が危機に瀕している」と強調した。2年前に5400万票を獲得して再選を決めた大統領は、議会による弾劾の動きは大統領だけでなく、ルラ前大統領以来続けられてきた教育の充実や貧困対策など国民本位の政策に向けられるとし、不当な企てとは最後までたたかうと支援を訴えた。ルセフ大統領を支持する社会運動団体や労組、学生団体はこの間「ブラジル人民戦線」を結成して支援を続けてきた。3月14日に続き31日には、全国で70万人参加のデモで弾劾反対を叫んだ。

マイナス成長下で国民の生活は苦しい。加えて石油企業「ペトロプラス」にかかわる大規模な汚職がある。「洗車（ラバ・ジャット）作戦」と呼ばれる連邦警察の調査で、政府高官や与野党の議員を含む100人以上が逮捕されている。政権が厳しい批判にさらされているのは事実だ。しかしルセフ大統領個人はその腐敗とは無関係と支持者たちは強調している。野党が弾劾の理由にあげているのは財政赤字を一時的な借り入れで補てんしたというもので、これはどの政府や自

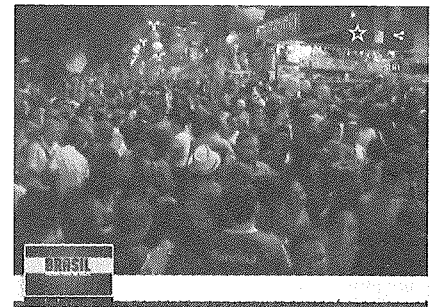
治体でもやっている施策で「犯罪」ではない。ルラ前大統領への非難も高級マンション取得したというものだが「ラバ・ジャット」との関係は示されていない。

## 反政府宣伝のねらいは

むしろ汚職にまみれているのは弾劾を進める方だ。メルコプレス の報道によると、下院の弾劾調査特別委員会のメンバー65人のうち37人が石油関連の汚職その他犯罪で訴追されている。513人の下院議員のうち303人が重大な犯罪容疑でこれまでに訴追されるかあるいは捜査対象になっている。上院議員81人のうち49人が同様だ。弾劾をすすめる急先鋒のクニャ下院議長や労働党との連立を解消したブラジル民主運動（PMDB）のテメル副大統領の2人も繰り返し腐敗への関与が指摘される疑惑の張本人だ。

テレスルはこの間、大規模に行われた反政府デモの様相も詳報している。「全国で300万人が参加した」と報じられた3月13日の行動について「労働者階級や青年はほとんどいない。参加者は白人の上層階級が中心で、“光栄あるブラジル軍は役割はたせ”とクーデターを呼びかけている」と伝えた。反政府キャンペーンの中心となっているエル・グローボ紙もクーデターを支持しあおるような報道をしている。背景には労働党政権の排除をねらう支配層の動きがあり、民主的政権がクーデターで倒された1964年の情勢に酷似していると専門家は指摘している。

ここにきてルセフ大統領の支持が各方面から示されている。住宅や土地を求める人々の運動団体からは「クーデター反対」の声があがり、3月31日には著名な芸術家や知識層が弾劾反対を表明した。このな



民主主義を守れとのサンパウロの集会(4月15日)を報じるテレスル

かにはサンバの女王ベソ・カルバヨや俳優のフレイレ・フィロなどのセレブが含まれている。リオやサンパウロの主要大学の教授や学生たちも抗議に立ち上った。法律家の多くも大統領の措置は犯罪に当たらないと表明している。こうしたなかで世論調査でも弾劾賛成が3月末の69%から61%に下がっている。

UNASURのサンベル事務局長は12日、声明を出し、ブラジルの弾劾委員会の決定は同国の法的安定性に懸念を抱かせるとツイッターで表明した。ルセフ大統領について何らの犯罪の証拠がないままの弾劾決定は同国と地域の法的安定性について懸念の原因になると述べた。「ブラジル人民戦線」は12日、労組や学生団体、人権団体の指導者が集まって、ルセフ大統領を支持する「民主主義防衛全国キャンプ」を発足させた。土地なし農民組合や労組、学生団体の活動家2000人が参加している。各地にテントをはったキャンプができています。下院で弾劾がきまれば大統領は最高裁に提訴できるが、しないと上院の過半数の採決で180日間の職務停止になる。その間、テメル副大統領の任務につく。さらに上院で弾劾が3分の2で採択されると大統領の失職が正式にきまる。(国際部長 田中靖宏 4/19 記)



4/11~14

日韓の歴史問題と東アジア共同体を考える韓国の旅

# 韓国近現代史と日韓の平和友好を学ぶ

日本 AALA は 4 月 11 日から 14 日まで「日韓の歴史問題と東アジア共同体を考える韓国の旅」をおこないました。

4 月 11 日、韓国総選挙の候補者ポスターが目につくソウルでは、朝鮮王朝の景福宮、青瓦台、清溪川を見学したあと、ソウル大学の南基正先生の講演を聴きました。南先生は昨年 12 月の「日韓合意」の評価や日本での戦争法反対の運動への理解まで言及しました。

2 日目には南北朝鮮の緊張がつづくなか、板門店を訪れました。同じ民族が長期に分断され、家族が離ればなれになっている現実。いがみ合うのではなく、統一の実現こそが待たれます。

3 日目には 90 歳を超える 4 人のハルモニと懇談。「戦争と女性の人権博物館」では挺身隊協議会の「日韓合意」への対応を聴きました。最終日、韓国版「プラタモリ」。南先生の案内で徒歩の市内歴史紀行。また訪れたい 4 日間のツアーでした。



## ハルモニ・韓国挺身隊協議会と懇談

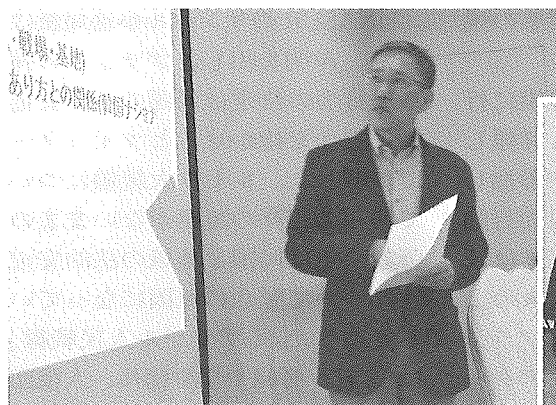
▲いまでは 10 人のハルモニが生活するナムムの家。2 人のハルモニは訪米中。90 歳を超える元気な 4 人と記念写真  
◀戦争と女性の人権博物館で昨年末の「日韓合意」への挺身隊協議会の見解を聴きました



景福宮の中心的建物「勤政殿」前で記念写真



ソウル市内を流れる清溪川。アスファルトで覆われていた河川を復旧し、市民が憩う観光スポット



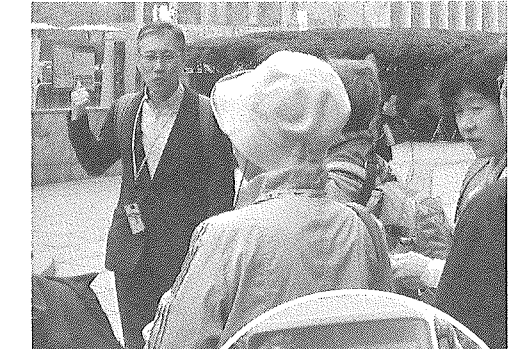
講演するソウル大学・南基正先生



南先生の分かりやすい講演を熱心に聞く参加者



▲ハルビン駅で伊藤博文を撃った安重根の生涯を展示する義士記念館前の像



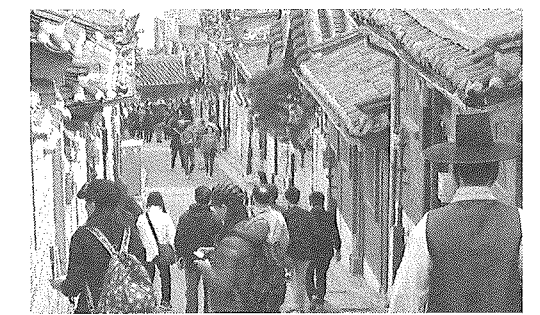
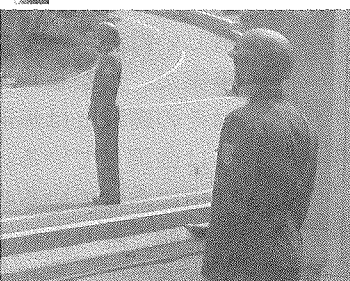
南先生が市内の歴史史跡を徒歩で案内(上)。終了後、握手する南先生と小松崎代表理事(右)



昌徳宮で会った女装した男子高校生と



▲「敵の行動によっては危害をうける、または死亡する可能性があります」という「訪問者(見学者)宣言書」に全員が署名して会議場に入りました▶板門店会議場の前で直立不動の北朝鮮兵士



急な坂の多い北村韓屋村。個性的な博物館などがあり、多くの観光客が見学中

◀西大門刑務所歴史館。大韓民国の独立と民主に向けた闘争の歴史が込められた博物館。青少年が目立ちます



## 「パレスチナの国家承認を求める署名」運動と「国際署名」推進で団体を訪問

日本 AALA は昨年 10 月の第 52 回定期大会で、「パレスチナ国家の独立を支援する運動を強化し、国家承認を日本政府に求めます。そのために署名活動を進める」という方針を協議・決定しています。多くの団体・個人のご理解と連帯で運動を進めるために、平和友好連絡会の各団体を訪問し、①パレスチナ国家承認を求める署名推進の実行委員会準備会の提案②それとの関連で 4 月 26 日に駐日パレスチナ大使の講演会が開催されるので役員や会員のご参加のお願い③9 月の東アジア首脳会議に向けた 10 万筆の「国際署名」の協力④オスパールコーヒーの普及のお願いなどをして懇談しました。

\* \* \*

3 月 31 日、小松崎代表理事と佐川事務局次長が日本ユーラシア協会を訪問。役員と懇談しました。木佐森前理事長、堀江新理事長、浅野副理事長、白井事務局長、佐川国際関係担当者などと懇談しました。諸課題に対し平友連の担当

団体としても協力を約束してくれました。また、コーヒーも販売部を中心にとりこんでくれることになりました。

同日、野本事務局長と松井常任理事が新事務所に引っ越したばかりの日中友好協会を訪問し、矢崎事務局長と懇談しました。趣旨は理解できますので検討したいとのことでした。

## 韓国ツアーから帰国後、南先生からメールが届きました

無事、帰国されたんですね。お疲れ様でした。私は実は、もっとたくさん、お話ししたいことがあったのですが、実際に回ってみると、あまり長く話ができないことが分かりました。もし、個人的にまたいらっしゃるときは、連絡ください。どなたも大歓迎です。

今朝のニュースで、熊本の地震のことを知りました。皆様の

4 月 5 日、小松崎代表理事と野本事務局長が日朝協会を訪問し、宮垣事務局長と懇談。パレスチナ問題は極めて大切なのでとりくみましょうと積極的に対応してくださいました。

\* \* \*

キューバ友好協会に対しては、電話でお話をして理解を得て、4 月 26 日の駐日パレスチナ大使の講演会ピラを会員に送ることに協力を快諾していただき、300 枚を送付しました。

中には、被害に遭われた方はいなかったでしょうか。早急の復旧をお祈りしています。

気温差が激しい時節ですが、どうぞご自愛ください。

南基正

※南先生は「しんぶん赤旗」記者の取材を受けました。4/17 付「しんぶん赤旗」5 面「韓国総選挙 変革求める人々 (上)」をご覧ください。

## 九州の大地震被災者支援のため 救援募金にご協力ください

4 月 14 日夜、熊本県を中心に大地震が発生し、その後も大きな地震が相次いでいます。この地震で 40 人以上の方がなくなり、多数の人が重軽傷を負っています。避難者は 10 万人を超えました。

日本 AALA はこの大地震での被災者を支援するため、救援募金を呼びかけます。振込先は下記の口座です。現地の連帯委員会等に送ります。各都道府県 AALA 連帯委員会のとりくみをお願いします。

口座記号番号 00110-6-72434  
加入者名 日本 AALA 連帯委員会  
通信欄 九州地震救援募金

## 駐日キューバ大使から お見舞いの花



秋庭稔男さん(前列) 秋庭さんの長男(後列左)

先月の駐日南アフリカ大使からの花束に引きつづき、マルコス・ロドリゲス駐日キューバ大使から花束が大使の手紙とともに秋庭稔男さんに送られてきました。

元気で！



列島AALA

## 新潟

結成 10 周年へ向け  
会員を増やす活動を

新潟 AALA は、2008 年 5 月に誕生しました。前年に当時の長野 AALA から新潟の民主勢力に韓国ツアーの誘いがあり、これに参加した仲間達を中心になって「新潟県にも AALA の組織を作ろう」との気運が高まり、結成したものです。以来、情勢に見合った講演会の開催などを中心に活動をすすめてきました。

最近では 2014 年に新潟情報大学教授の吉澤文寿さんを講師に迎えて「歴史認識問題をどう乗り越えるか」、ジャーナリストの鈴木勝比古さんを講師に迎えて「ASEAN の平和の流れと日本外交」、2015 年にはアフリカ国際問題研究者の高林敏之さんを講師に「日本はアフリカでイスラム聖戦主義と対峙するか」を開催しました。参加者は 40 人前後で、多いときで 100 人超です。私たちの活動ははまだ「学習・啓蒙活動」が柱になっていますが、月 1 回の理事会開催や理事会での学習を欠かさないよう、常に努力してきました。

会員は延べでは 50 人を軽く超えています。常に 40 人を切る状況ですので、これをなんとか当面 50 人に増やすべく努力したい

## 宮崎

「戦争法 NO！」  
野党が統一候補擁立

参院選宮崎選挙区で民主、社民両党県連、日本共産党県委員会、市民団体「市民連合みやざき」の 4 者は 4 月 23 日連絡協議会「オールひむかネット」を発足させ、無所属の統一候補・読谷山洋司さん（民主、社民党推薦）の当選に向けた活動方針を確認しました。①立憲主義の回復、安倍閣連法廃止、集団的自衛権行使容認の閣議



前列左から 3 人目が読谷山洋司さん

と考えています。在新潟の留学生や東アジアの方々との交流の開拓も課題です。新潟 AALA も来年は結成 10 周年を迎えます。この節目には AALA ならではの企画をするべく検討を進めたいと考えています。（事務局長 野沢洋子）

## 愛媛

## 春の講演会を開催

「えひめ AALA 春の講演会」は、日本 AALA・国際部長の田中靖宏さんを迎えて 3 月 26 日に松山市で開催しました。

演題は「激動の世界をどうみるか」。年度末でもあり、各種の集会や行動が目白押しのなか、近隣の 4 市 1 町から 66 人が参加しました。昨年春にはイシカワ駐日ベネズエラ・ボリバル共和国全権大使の講演と新藤通弘さんが ASEAN をテーマに語った講演も好評でしたが、今回も「世界から日本を見る講演会は貴重」「世界の見方が変わった」「毎年情勢は変わるので同じ切り口で毎年講演会を」など、参加者から好評を得

決定の撤回、安倍政権打倒、多くの県民に支持を呼びかける②参院選に向けた連絡・調整などの実務連絡などを代表は置かず、民主党の渡辺幹事長が事務局長を務めること、またシンボルカラーをライトグリーンとすることも決めました。

29 日には共同記者会見をひらき、読谷山さんは憲法違反の戦争法と集団的自衛権行使容認の閣議決定に県民を代表し「NO」の声を突きつける責務を担う決意を述べました。

宮崎県の国政選挙で社民・民主・共産が統一候補を擁立したのははじめてのことです。自民党は「完全な野合」と批判し、地元紙も「共産擁立取り下げ」と大見出しで強調するなど、野党が共闘して戦争法廃止をという世論を軽視しています。（事務局長 佐川嘉正）

ることができ、機関紙読者も増えました。「外国では当然の認識も国内で聞く機会はほとんどなく、テレビなどからでは知ることができないことが聞いてよかった。南沙諸島で何が起きているのかよく分かった」「日本に起きていることで頭がいっぱいで、世界の話はなかなか読めていない。今日の話はとても勉強になった。少し世界のことが分かったと思う」などの感想が寄せられました。

今年の国際友好ツアーはどこにするかなどの課題も出されています。十分な活動が展開できない事情を抱える愛媛ですが、小粒でがんばっています。

（事務局長 山本 翠）

## 秋田

## トルコに住んで 28 年

3 月 19 日、秋田 AALA 能山支部は講演会を開催し、30 人が参加しました。

28 年間トルコで生活し、先ごろ帰国した原田武子さんの講演の

あらまします。

\* \* \*

1986年、チェルノブイリ原発事故の2カ月後に1回目のイスタンブール、翌年2回目は3カ月でトルコ一周のつもりで出かけたのですが偶然なことから出版社で働くことになり、28年間たちました。

仕事上、トルコの遺跡はほとんど見て回りました。特に東部のチグリス・ユーフラテス流域に興味をひかれました。さまざまな民族が混じり合っけくらすおらかなトルコ社会に魅力を感じ、長居してしまいました。トルコ周辺の国々も一人で歩き回りました。男性社会ですから、それなりに苦勞

もありました。

なかでもシリアとレバノンは言葉を知らなくともリラックスして歩ける楽しい国でした。シリアは5回以上は訪ねています。出会った子どもたちが、いまどうしているか、心が痛みます。

トルコには、支配民族だったオスマントルコの歴史からプライド、その裏返しの孤立感があります。数百年前の「コンスタンチノブル征服」をいまも祝うとか、「地中海はトルコの中庭」と思うような民族主義、反面周辺国との関係でアルメニア人大量虐殺事件への対応などが尾を引き「トルコ人の友人はトルコ人しかいない」とも



言われています。近隣国との和解が未解決であることへのコンプレックスでしょうか。

中東地域の人びとは日本人のように簡単に水に流して忘れるようなことはありません。日本といえはすぐ原爆を連想して、「アメリカはきらいでしょう」と声をかけてきます。

今日のエルドアン大統領下で感じられることは、国の衰退がすすむことが他民族への圧迫を強めることと一体のものでないかということです。

国家を持たない最大の民族であるクルド人を抹殺しようと、テロを口実に激しい弾圧を加えています。新聞社の取材も許さない状態で、救急車が現地に到着するとすぐに報道規制されているのです。エルドアンは「あれは山岳トルコ人」といってクルド語の使用を禁じています。下品さを隠そうともしない厚顔な大統領のもとで、トルコは変わりました。

友人たちは「いまが日本に帰る潮時だね」と送ってくれました。多くの観光客もはなれ、売りに出されているホテルもあります。難民の多くはヨーロッパへ流れています。この流れは止められるでしょうか。「難民交換」をめぐるトルコ EU 首脳会議はクルド人への迫害に、オランダやメルケルは懸念を表明しているからです。

(能山支部 工藤隆康)

## オスパールコーヒーを 広めましょう

東京 AALA の事業活動をご紹介します。  
おいしいコーヒーを飲みながら AALA  
の活動を楽しくすめましょう。

### あらゆるついで AALA のコーヒーを普及

「オスパールコーヒーはいかがですか」「どれがおすすめですか」「おいしいのはどれですか」。こんな会話が交わされるとオスパールコーヒーが必ず売れます。AALA 主催のさまざまな学習会、講演会はもちろん、「八王子平和を愛する文化祭」、「横田基地もいらぬ市民交流集会」などの大きな集会では、AALA のブースをもらって、AALA の活動の紹介とオスパールコーヒーの宣伝販売をしています。

日本 AALA がニカラグアのサンディニスタ民族解放戦線革新政権を支援したこと (1979 年) を知っている人はマラゴジペを買ってくれます。知らない人にはオスパールコーヒーが AALA の設立した会社であることを知らせようと関心を持ってくれます。オスパールコーヒーを普及するコツはどんな集まりでも必ずコーヒーを持って行くことです。

(東京都 AALA 事務局長  
松井幸博)

お待たせしました。オスパールコーヒーはモカとキリマンを4月中旬から販売しています。会員のみなさんのご注文をお待ちしています。モカ・ウォッシュド：1,100円/200g、モカ・ブレンド：950円/200g (お申し込みは日本 AALA かオスパールにどうぞ)

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA  
SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-11-7 第33 宮庭ビル 4 階

電話：03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>

FAX：03 (3357) 6255 E-mail：info@japan-aala.org

振替 00110-6-72434 毎月1回1日発行1部150円 (送料62円)